

頭に扇風機を縛り付けたら飛べるのか？号

月刊ブル通信

1505

編集発行人 ブル
ブル通信は発行人が
ブルドッグの様な
顔をしているので
ブル通信としました。

ブル通信は
過去に...

ガッツのお車の
ご購入 売却
車検 修理

の
どれかをご利用頂いた
お客様に
お送りしています。

これが究極の部屋干し対策だあ！ 厳選、部屋干しの裏ワザ

ということとで日本一下らないこのブル通信、今月は珍しくまともなネタから行ってみたいと思うのであった。

本通信が届いたころはまだ気持ちの良い季節が続いているのではないかと思うのであるが、もうすぐジトジトジメジメの梅雨の季節が来るのである。あゝ俺は北海道だから関係ないよ。という人もいるかもしれないが、それは特例なのでとりあえず読み進めて頂きたい。また、おいおまえら貧乏人と一緒にすんじやねーよ。俺の家では乾燥機付き洗濯機を使っているんで関係ねーよ。という嫌味な人もいるかもしれないがそれも特例なので読み進めて頂きたい。基本的に本通信においては著者の生活をベースとして書き進めているのであった。著者の生活というのは①本州に住んでいる②当然ながら乾燥機付き洗濯機などという素晴らしいものは持っていない③雨が続きと家じゅう洗濯物だらけ④酒浸りの毎日でありいつも安物の焼酎で胸焼けに苦しんでいる

- ⑤金がないのに極度のヘビースモーカーである。とまあ、このような条件のもと、本通信を書いているのであるが③④⑤は本通信とはあまり関係ないので早めに忘れていただくように。
- さて本題、究極の部屋干し対策、ざざーと行きますよ！
- 1、下より上に干す。湿気は下にくるからなるべく部屋の上に干す。
 - 2、感覚は握りこぶし。干す感覚は室内の場合にぎりこぶし程度は必要らしい。
 - 3、窓際、壁際はダメ。空気の通りが悪いらしい。さらにカーテンなどもかびやすいらしい。
 - 4、ピンチハンガーはアーチ干し。外側に長いモノ、内側に短いものにした方が真ん中に長いものを干すより早く乾燥するらしい。
 - 5、くしゃやくしゃ新聞紙で湿気を吸収。くしゃやくしゃにした新聞を再度広げて洗濯物の下に置くと湿気を下げてくれるらしい。
 - 6、ななめ干しで大物を早く。斜め掛けすると水分が角にたまって乾きが早くなるらしい。場所が取れるときはこれがいいらしい。
 - 7、ちよい干しでタオルは速乾。タオルが重なる部分

は乾きにくく片方をちよいとひつかけるように干してピンチで留めれば二つ折りより早く乾くらしい。

8、ズボンは筒干し、ズボンは内側の乾きが問題。縫い目を表に出して内側に針金ハンガーなどで空気の通り道を作ると早く乾くらしい。

9、シャツは逆さバンザイ、シャツは逆さにして裾をちよいがけ干し。これが最も乾くらしい。

10、部屋のドアは開放、これは説明の必要ないですね。小雨なら最初の30分は軒下がいい。脱水直後の洗濯物の場合、外が小雨程度なら屋根のある室外に干したほうが早く乾くらしい。少し乾いてきたら家に取り込むといいみたい。

と、まあこれであたたも部屋干しのプロなのである。部屋干しのプロというのがどういうものなのかよくわからないのであるがとにかくプロなのであった。

輸入車に乗って人、乗りたい人は輸入車に日本車と違うから注意

ちよつと車屋らしい記事を書きましようか。えーとですね。輸入車、ベンツやBMWとかVW、ミニあたりはもう輸入車と言えないほど一般的に普及してきていますよね。僕が若い頃は輸入車ってとにかく特別な存在で庶民が買えるようなものではなかったんです。けど、現在普通にみなさん買われていけますね。で、以前に比較すると電装系とかオイル漏れとかは昔ほどはなくなってきたのは事実ですけど、それでも日本車に比較するとやはりちよつと弱いかな？って

というのが車屋の僕から見た正直な感想です。まあ電装系とかは壊れても修理すればいいだけで決定的なダメージを車に与えるようなことにはならないわけですけど、日本車と感覚的に決定的に違って、かつ、メンテナンスを怠ると車に決定的なダメージを与えるものがあります。これ何かというとエンジンオイルの管理なんですね。

いやきちんと交換するのは当たり前なんですけどそれ以前の問題としてエンジンオイルをどんどん消耗してしまうエンジンというのも輸入車の中には結構あるんですね。

日本車の場合、エンジンオイルの消耗によるエンジンダメージというのはよほどの事がない限り、まず起こりにくいわけですけど輸入車の中には例えば新車購入時にエンジンオイルの缶が1し程度付いてくるような車もあります。これってサービスで付いてくるわけじゃなくてちゃんとエンジンオイルを継ぎ足して使って下さいね。っていう意味なんです。つまりはこまめにエンジンオイル量をチェックしてオイル交換以前にもエンジンオイルを継ぎ足して使わないとエンジンに決定的なダメージを与えてしまうような車種もあると言うことです。

具体的な車名はまあブランドイメージもあるでしょうからここで書くことは控えますけどね。まあ日本車では考えにくいんですけどエンジンオイル、ガンガン消耗していく車、結構ありますんで要注意ですよ。気がついたらエンジン載せ替えなんてことも珍しくないので輸入車の世界ですからね。かなりよくなつたとは言ってもやはり国産車みたいなわけにはいかないのが輸入車です。